

戦争中の生活を読む2

～新聞記事と写真で知る～

A-2-10
新聞を
使う

【 対象 】 一般教員、司書教諭、学校司書、児童、
生徒 一般

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】
筆記用具
蛍光ペン など

【準備】 大きめの紙 付箋 マクキングテープなど
キット 2-12
戦争と戦後の掲示板 暮らしと戦争

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 項目を設け、それに該当するものを資料から探し、付箋に書く。
服装・家屋・交通機関・日用品・町など
- ② ①で抜き出した付箋から、今でもあるもの・今は見たことがないものに分ける。
- ③ 今では見たことがないものを調べる。
名称がわからない場合が多い。何に似ているかを答えるのも 可
例 ゲートル ソックスの長いもの
- ④ なぜ、今はないのかを考える。
例 たらい 洗濯機が普及したから
防空訓練 空襲がないか
- ⑤ ④から戦争中だから使われたものを探す。
- ⑥ 戦争が与える社会や家庭への影響を考え、発表する。

【 その他 】 昔の道具を知ることの一助になります。機械化されていない時代の物と、戦争のため使うことになった物を分けることで、一般の人々の生活が戦争によって大きく規制されることがわかります。